

プレスリリース

令和4年4月27日

令和4年新嘗祭献穀者について

このことについて、県は宮内庁掌典長からの通知に基づき、令和4年4月11日付けで2名を献穀者として推薦したところですが、この度、同職より承知した旨の回答があり、下記のとおり献穀者が決定しましたので、お知らせします。

記

1 献穀者の市町村・氏名・献穀予定穀物・品種

郡山市 ^{えんどう}遠藤 ^{あきお}昭夫氏（69歳）本県オリジナル水稻品種「福、笑い」
三島町 ^{こまつ}小松 ^{まさのぶ}正信氏（71歳）本県オリジナル水稻品種「天のつぶ」

※「福、笑い」は今回が初めての献穀となります。

2 新嘗祭献納の概要

献穀は、宮中の恒例行事の中で最も重要な儀式である「^{にいなめさい}新嘗祭」に、全国各県の精農家が精米等の新穀を献納するものであり、明治25年以来、現在まで続いている伝統的な行事です。

新嘗祭献穀献納式は、10月下旬に皇居で行われ、遠藤様より新米「福、笑い」が、小松様より新米「天のつぶ」が、それぞれ献納されます。

〔問い合わせ先〕

農林水産部水田畑作課

主幹兼副課長 遠藤 崇寛

電話024-521-7359（直通）

（内線 3201）